



ALSO (Advanced Life Support in Obstetrics) プロバイダーコース in 名古屋市立大学

我々の願いは一つ。“安全なお産”です。少子化の進む日本でもハイリスク分娩は増加しています。またひとつひとつの妊娠や分娩に関わる医療もより濃厚なものになってきています。世界に誇る高い日本の周産期医療レベルを維持するため、分娩に携わる医師、助産師、看護師、救命救急士らがより高い知識と技術を身につけることが重要です。

ALSO とは医師やその他の医療プロバイダーが周産期救急に効果的に対処できる知識や能力を発展・維持するための教育プログラムです。1993年にアメリカ家庭医学会によって正式に認定され、現在アメリカではほとんどの分娩施設において分娩に関わる医療スタッフがALSOに受講を義務付けられています。本プログラムは極めて高く評価され、現在では世界的に普及しています。

講習内容は周産期救急現場における対処法についてのレクチャーとシミュレーターを用いた実技学習のワークショップです。受講者は2日間のコースを受講し筆記試験とメガデリバリー（実技試験）に合格すると、ALSO Japanより5年間有効の認定書を授与されます。

周産期医療への情熱の滾（たぎ）る、皆さまの受講をお待ちしています。

- 日 時： 2019年12月14日（土） - 15日（日）
会 場： 名古屋市立大学臨床シミュレーションセンター（名古屋市瑞穂区）
対 象： 医師・初期研修医・産科婦人科専攻医・助産師・看護師
募集人数： 30名
参加費： 40,000円
主 催： 名古屋市立大学大学院医学研究科産科婦人科学
共 催： NPO法人周産期医療支援機構（ALSO Japan）
後 援： 名古屋市立大学産科婦人科学教室同窓会（瑞櫻会）
名古屋市立大学臨床シミュレーションセンター

参加申込方法

件名に「ALSO 受講」と記載し、下記アドレスへ必要事項を記入の上お申し込み下さい。

E-mail: ogikyoku@med.nagoya-cu.ac.jp

【必要事項】

- ① 氏名
- ② 氏名のふりがな
- ③ 氏名のローマ字表記（例 尾崎 康彦 Yasuhiko Ozaki）
- ④ 所属病院
- ⑤ 職種及び診療科
- ⑥ 役職
- ⑦ 卒業年度（西暦）
- ⑧ 現職経験年数（研修年数）
- ⑨ 現住所
- ⑩ E-mail アドレス（携帯メールアドレス不可・1つのアドレスで二名以上の応募は不可）
- ⑪ 電話番号（当日連絡がつくもの）
- ⑫ 志望動機

【募集期間】 2019年8月26日（月）～2019年9月25日（水）

【お申込みに際しての注意事項】

※10月4日（金）までに受講可否のご連絡をいたします。メールが届かない場合は、お手数ですがお問い合わせください。

※本コース開催時、名古屋周辺のホテルは予約困難が予想されます。

遠方より参加ご希望の方は、お早目に宿泊先の確保をされることをお勧めします。

【問い合わせ先】

〒467-8601 名古屋市瑞穂区瑞穂町川澄1

名古屋市立大学産科婦人科（担当：井出）

TEL：052-853-8241 FAX：052-842-2269

E-mail: ogikyoku@med.nagoya-cu.ac.jp





交通アクセス

地下鉄

★名古屋駅（地下鉄桜通線名古屋駅）

野並行き →（約 16 分）→ 桜山駅（市立大学病院）下車 3 番出口

市バス

★栄バスターミナル（オアシス 21 のりば）

【4 番のりば】

栄 26 号系統 「博物館」 行 →（約 25 分）→ 「市立大学病院」 下車

★金山市営バスターミナル

【7 番のりば】

金山 11 号系統 「池下」 行 →（約 15 分）→ 「桜山」 下車

金山 16 号系統 「瑞穂運動場東」 行 →（約 15 分）→ 「桜山」 下車

金山 12 号系統 「妙見町」 または 「金山」 行 →（約 15 分）→ 「市立大学病院」 下車

【8 番のりば】

金山 14 号系統 「瑞穂運動場東」 行 →（約 15 分）→ 「市立大学病院」 下車

※尚、最新の地下鉄・市バスの時刻表については、名古屋市交通局ホームページ (URL : <http://www.kotsu.city.nagoya.jp/>) をご利用ください。